

船舶事故調査報告書

令和元年7月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成31年1月25日 06時25分ごろ
発生場所	大分県大分港 神崎港防波堤灯台から真方位283°700m付近 (概位 北緯33°14.8′ 東経131°46.8′)
事故の概要	プレジャーボートたかせ丸は、航行中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成31年2月6日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート たかせ丸、4.7トン
船舶番号、船舶所有者等	290-61678大分、タカセスチール株式会社
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	プロペラに曲損、舵軸受に破損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 低潮時 日出時刻：07時13分ごろ
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人3人を乗せ、釣り場に向けて航行中、浅所に乗り揚げた。 本船の喫水は、船首約0.4m、船尾約0.9mであった。 本船の乗船者は、全員が固型式救命胴衣を着用していた。 船長は、本事故発生場所付近を航行するのが2回目で浅所の存在を知らず、また、事前に水路状況を調査していなかった。
分析	本船は、航行中、船長が浅所の存在を知らずに航行を続けたことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、日出前の薄明時、本船が、航行中、船長が浅所の存在を知らずに航行を続けたため、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・不慣れな海域を航行する場合、事前に水路調査を行うこと。